

役員農業法人巡回

4月13日(金)、J Aの吉田副組合長や担い手支援室、営農センター職員らが秋田市内の農事組合法人白華の郷、農事組合法人平沢ファーム、農事組合法人種沢ファーム、農事組合法人おおさわを訪問し、生産者らと意見交換を行いました。また、4月18日(水)には加藤専務や佐藤広秀常務らが、農事組合法人高屋すずらんファームや農事組合法人いりあいファーム滝の頭、男鹿市船越地区の園芸メガ団地や農事組合法人ファーム北野を訪問し、施設や畑などを視察しました。

それぞれの法人では、労働力の確保や機械導入による課題点といったこれからの法人経営について、農業法人に対するJ Aのサポート体制などが話題に上りました。

今回頂いた意見を参考に、今後の営農指導や担い手支援を充実させていきます。



生産者らと様々な意見を交わしました



キクの園芸メガ団地を視察する参加者ら



話を聞く吉田副組合長(右)

NEWS & TOPICS

合併記念祝賀会

4月7日(土)、秋田ビューホテルで合併記念祝賀会並びに事業進発式を開催しました。役員関係者約400人が参加しました。役員が一堂に会し、「J A秋田なまはげ」誕生を祝い、平成30年度の事業目標達成に向けて団結を誓いました。

会では優良職員の表彰や、新入職員の紹介、各部門の事業目標を発表し、職員一人ひとりが自らの目標を達成することが、「J A秋田なまはげ」全体の目標を達成することを確認しました。

また、コンプライアンス研修を行い、不祥事や事務ミスが発生することのないよう取り組むことを誓いました。

京極組合長のあいさつ



園芸作物の担い手を支援

4月4日(水)、秋田市は新規就農研修開講式を秋田市園芸振興センターで開きました。市内で独立・自営就農又は雇用就農を志す4人が2年間の研修に参加します。

新たに野菜および花きの園芸作物による農業経営を目指す方を対象に、園芸栽培全般の基礎的な技術をはじめ、周年農業技術など実践的な研修を行います。

京極芳郎組合長は「我々と一緒により良い地域農業発展のために、頑張っていたきたい」と話しました。

J A秋田なまはげは栽培の技術指導、農産物の集荷を行いながら、行政関係機関と連携し、地域農業を支える担い手の育成・支援をします。

研修生を囲む講師関係者

